

「工場の今」を瞬時に把握

～リアルタイムの見える化で課題発見による改善を実現～

データドリブンなものづくりで変化に強い生産体制を構築

製造業は人手不足、技能継承、コスト高騰などの課題に直面し、デジタル化が解決策として注目されています。富士通フロンテック新潟工場では、10年以上にわたりデジタル技術を活用した現場の見える化と改善活動に取り組んでまいりました。

現場実践で作上げたシステムと実際に取り組んできたノウハウでお客様の課題解決を支援します。

デジタル技術を活用した製造プロセスの効率的な課題解決

こんな悩み・問題ありませんか？



紙と手書き帳票による記録・管理がいつまでも無くせない



現場の状況(進捗・トラブル・工数等)がリアルタイムで把握できず問題の発覚が遅れる



生産変動による工程変更で作業者の多能工化と管理に工数が掛かっている



作業者のスキル管理、技能伝承や公平な人事評価に課題がある

課題解決の主な機能



電子チェックシート(タブレット)

- タブレットを使った電子チェックシートによるペーパーレス化
- 作業指示・機歴管理・障害管理など、トレーサビリティをデジタル化



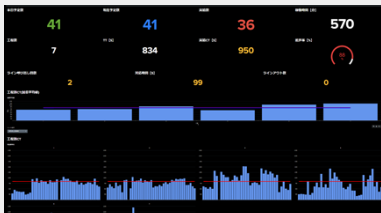
ダッシュボードによる現場状況の見える化

- 電子チェックシートのデータをリアルタイムで集計・分析し現場をダッシュボードで見える化
- 作業の品質やスピードからスキルレベルを自動判定

現場状況の見える化

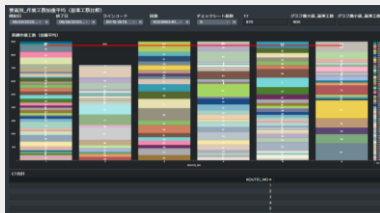
現場状況を見える化、改善すべき課題をタイムリーに把握することで継続的に改善活動を支援。約50種類のテンプレートを準備。

生産進捗



- ライン/セル単位で当日の生産計画に対する遅れ/進みをリアルタイムで見える化

作業工数・ラインバランス



- 機種、図番毎の作業実績工数を見える化
- ボトルネックになっている工程や作業を速やかに特定し改善へ

多能工・スキル管理

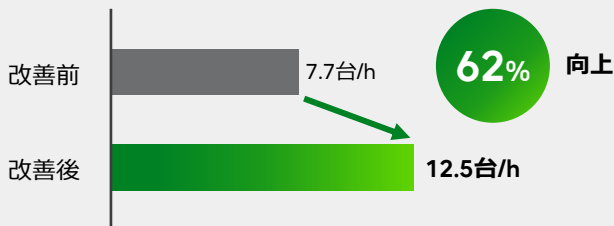
個人別スキルレベル推移



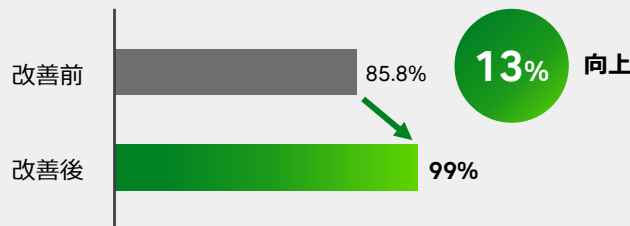
- 多能工/習熟率に対しスキルレベルを数値管理にて定量化
- スキル状況を可視化し一人一人の強み弱みを把握し評価や人事制度に反映

改善効果（弊社実績）

生産性 ※1時間あたりに1人ができる作業量



直行率



現場管理者

ライン毎の遅れ進みだけでなく、なぜ遅れたのかの原因がすぐに特定できるので素早く対処できるようになり、生産性・直行率ともに大きく改善した。

管理業務も減り、改善活動といった付加価値を高める業務に集中できる。



現場作業員

久しぶりの作業も動画や画像で作業手順を確認できて便利。

自分のスキルも見えるようになり、正しい評価をしてもらえてモチベーションアップにもなる。

本取り組み内容は、富士通フロンテック株式会社公式HP、YouTubeでもご紹介しております。

公式HP



YouTube



お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

当社のものづくりDXに関して気になることがございましたら、是非お問い合わせください。

✉ frontech-niigata@cs.jp.fujitsu.com